

協議(1) 大船渡市スポーツ推進計画の進捗状況の評価・検証について

令和元年度に策定した「大船渡市スポーツ推進計画（計画期間：令和元年度～令和10年度）」については、毎年度、大船渡市スポーツ推進審議会において、基本施策及び各種事業の実施状況や効果、数値目標の達成度などについて評価・検証を行いながら、より実効性のある事業の実施を図ることとしている。

令和6年度の基本施策及び各種事業に対する評価・検証を、次のとおり実施することとする。

1 評価の対象

大船渡市スポーツ推進計画に掲げた基本方針における基本施策及び各種事業を評価の対象とする。

2 評価の時期

原則として、前年度末までの実績を翌年度に評価する。

3 評価の観点

基本方針ごとに、達成目標に係る指標の実績値の推移や基本施策を構成する各種事業の成果などを踏まえて、その達成状況を明らかにするとともに、それぞれの課題や今後の方向性について整理する。

4 評価方法

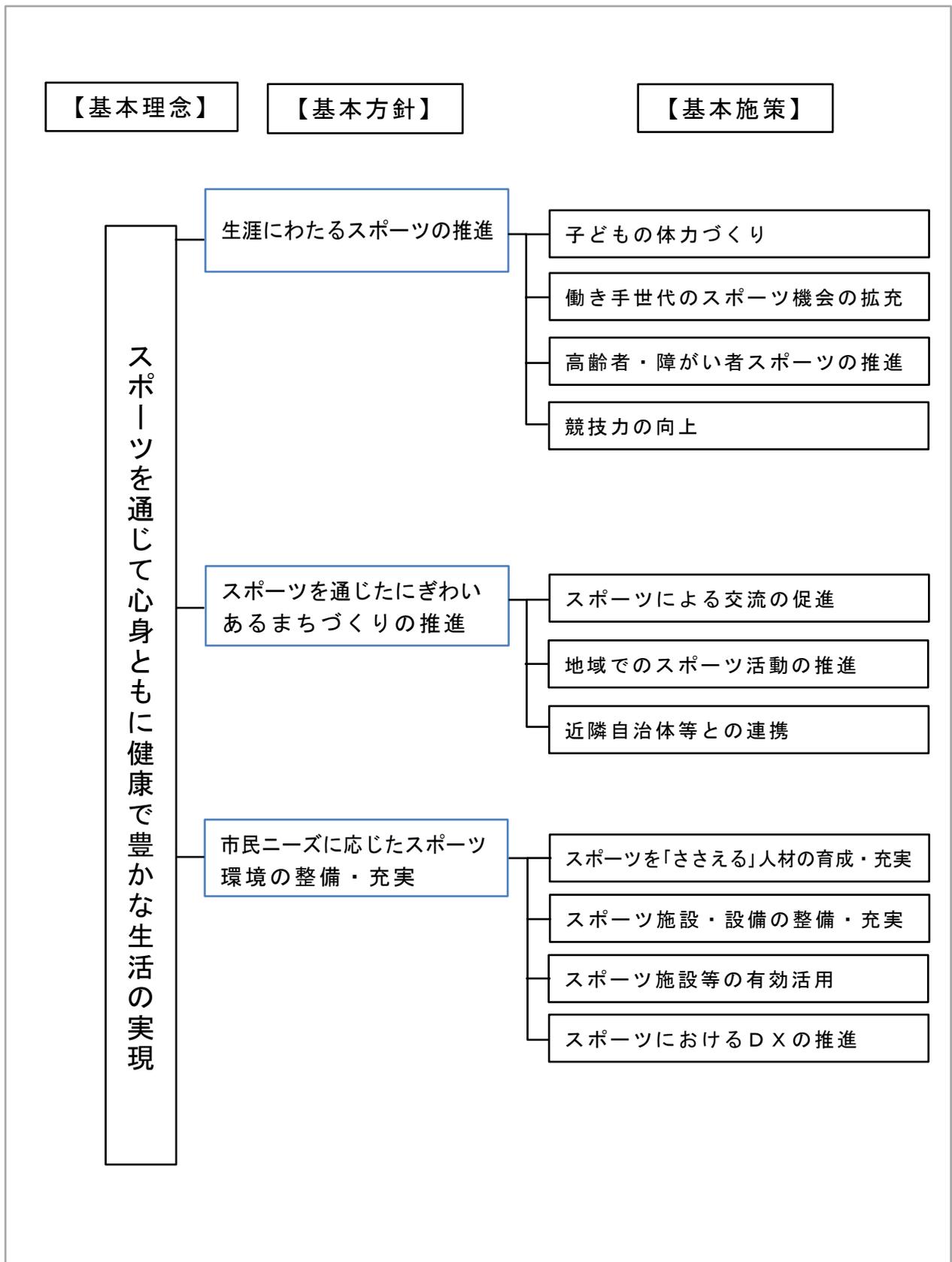
別添「大船渡市スポーツ推進計画施策・事業評価シート」に基づき、大船渡市スポーツ推進審議会に対し評価等を求めることとする。評価に当たっては、進捗度を「A」、「B」、「C」又は「D」のいずれかで総合的に評価し、意見等を求める。

評価確定後においては、評価結果（当該施策・事業評価シート）を市ホームページで公表する。

※進捗度評価の考え方等は、次のとおり。

評価区分	考え方
A	<ul style="list-style-type: none"> 令和10年度目標値に対する令和6年度実績値の割合が90%以上 基本施策及び各種事業が順調に進捗しており、目標を上回る成果が得られている。
B	<ul style="list-style-type: none"> 令和10年度目標値に対する令和6年度実績値の割合が70%以上90%未満 基本施策及び各種事業が着実に進捗しており、概ね目標どおりの成果が得られている。
C	<ul style="list-style-type: none"> 令和10年度目標値に対する令和6年度実績値の割合が50%以上70%未満 基本施策及び各種事業の実施上、課題等が確認されており、目標とする成果が得られない。
D	<ul style="list-style-type: none"> 令和10年度目標値に対する令和6年度実績値の割合が50%未満 基本施策及び各種事業の実施に支障をきたしており、成果を得るのが困難な状況にある。

5 スポーツ推進の施策の体系



6 大船渡市スポーツ推進計画に掲げる主な事業及び令和6年度実績

(1) 基本方針1 生涯にわたるスポーツの推進

事業名等	実施時期	事業内容
スポーツ教室開催事業	5月～ 翌年2月	様々な年代を対象に陸上競技等スポーツ教室を9教室開催 内訳は4ページ
スポーツ少年団活動支援事業	通年	スポーツ少年団の設立に関する指導や登録、運営費の助成等を実施（44団体、843千円）
学校体育施設開放事業	通年	市内小中学校の体育館やグラウンドを市民のスポーツの場として開放（15校、94,366人）
市民体力測定会	10月22日	自分の体力年齢や運動能力を知り、健康づくりのきっかけにするために実施
ファミリーウォーキング	10月20日	親子参加型のウォーキングイベントを実施（大船渡リバーサイド散策コース、89人）
全国大会等出場奨励事業	通年	東北大会や全国大会に出場する市代表選手に対し激励金を交付（4団体、22個人、250千円）
体育功労者等顕彰事業	通年	競技団体等の発展に貢献した方や優秀な成績を収めた選手を表彰（功労賞4個人、栄光賞1団体・4個人、奨励賞5団体・7個人）
スポーツ協会加盟団体活動支援事業	通年	加盟団体の活動費を助成し、日常的な活動と市民のスポーツ参加を推進（25団体、1,500千円）
選手強化助成事業	通年	競技力向上のため、加盟団体へ県民体育大会の選手強化費を助成（19団体、570千円）
岩手県民体育大会選手派遣支援事業	6月～8月	県民体育大会の選手派遣費を助成し、大会参加を促進（19競技、218人、1,599千円）

(表1) スポーツ教室開催事業の内訳

(単位：人)

No.	種 目	回数	期 日	対 象	会 場	参加者数		
						男	女	計
1	ジュニア陸上教室	10	5/8 ～7/31	小学4年生 ～6年生	大船渡小学校 グラウンド	19	24	43
2	剣道	10	5/22 ～6/21	幼児以上	市民体育館	14	18	32
3	キッズジュニアテニス	6	6/2 ～7/28	小・中学生	市民テニスコート	8	3	11
4	グラウンドゴルフ	1	6/16	小学4年生 以上	盛川河川敷公園	4	13	17
5	テニス	8	7/16 ～9/10	中学生以上	市民テニスコート	7	10	17
6	柔道	6	7/30 ～8/11	年長・ 小学生	時習館	4	0	4
7	弓道	10	10/21 ～11/25	小学6年生 以上	市民弓道場	2	5	7
8	スキー	2	1/26、 2/9	小学生	網張温泉スキー場	4	2	6
9	スポーツ体験会 ・ソフトテニス ・バレーボール ・卓球 ・ラグビー	1	2/24	小学生	市民体育館	20	26	46
合計						82	101	183

(表2) スポーツ施設等の利用状況

(単位：人)

施設名		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
体育センター		286	163	190	102	91
市民体育館		30,411	62,295	55,949	47,754	35,201
市営球場		2,854	2,986	5,916	5,258	4,160
市民テニスコート		33,265	19,369	18,027	16,567	11,684
市民弓道場		110	233	554	784	787
田中島グラウンド		1,043	1,701	536	775	719
赤崎グラウンド		19,925	20,243	19,543	21,743	17,660
三陸体育館		3,059	3,251	3,663	2,940	1,603
三陸B&G 海洋センター	体育館	4,710	4,005	4,298	3,625	3,491
	プール	1,207	使用中止	使用中止	使用中止	廃止
三陸総合運動公園	グラウンド	6,839	5,838	7,040	6,252	5,893
	テニスコート	3,583	1,116	970	1,126	984
山村広場		1,466	1,216	2,272	3,075	2,650
盛川河川敷公園	少年野球場	391	175	199	130	210
	多目的広場	13,882	16,541	15,945	13,804	11,699
堀川グラウンド		1,210	1,435	1,450	1,547	1,619
大船渡東高校		1,886	2,073	2,619	2,022	2,021
学校体育施設開放(15校)		83,218	80,734	92,995	87,736	94,366
茶屋前緑地公園			3,264	4,828	4,127	4,002
合計		209,345	226,638	236,994	219,367	198,840

(2) 基本方針2 スポーツを通じたにぎわいあるまちづくりの推進

事業名等	実施時期	事業内容
市民体育大会	6月～ 翌年2月	スポーツへの関心を高め、スポーツ活動を促進することを目的に開催 内訳は7ページ
高齢者スポーツ 交流大会	9月29日	各地域の老人クラブ対抗による、ニュースポーツを通じた交流大会を開催（12チーム、56人）
スポーツ少年団 交流大会	11月23日	スポーツ少年団の対抗による綱引き、大縄跳び、スポーツリバーシーを開催（7チーム、150人）
ニュースポーツ・ フェスティバル	2月11日	ニュースポーツの普及等を目的とした交流大会を開催（7種目、87人）
大船渡新春ロード レース大会	1月12日	県内の陸上シーズンの幕開けを告げるロードレース大会を開催 （ロード 397人、駅伝 180チーム 720人）
大船渡ポートサイド バレーボール大会	9月14日・ 9月15日	バルセロナ五輪に出場した栗生澤淳一氏を顕彰し、スポーツ少年団を対象としたバレーボール大会を開催（36チーム、360人）
大船渡アスリート 応援団事業	通年	本市にゆかりのあるアスリートへの応援を通じて、シビックプライドの醸成や、シティプロモーションを推進 資料は8ページ
スポーツ合宿支援 事業	通年	スポーツ施設を利用した宿泊を伴う合宿に対し、補助金を交付 ※宿泊費補助＝延べ宿泊者数×2,000円（上限20万円） 〔盛岡南高等学校女子バスケットボール部〕 7月29～7月31日 2泊3日 延べ32人、64千円 〔一関修紅高等学校男子バレーボール部〕 8月6～8月9日 3泊4日 延べ86人、172千円
		※大規模林野火災のため中止 〔専修大学北上高等学校女子サッカー部〕 3月26～3月29日 3泊4日 延べ120人
スポーツ推進委員 設置運営事業	通年	実技指導、助言等を行うスポーツ推進委員をスポーツ大会等に派遣（6件、延べ56人）
地域公民館対抗 卓球大会	2月2日	各地域公民館単位でのチーム編成によるラージボール卓球大会を開催（10チーム、36人）
東京2020オリンピ ックレガシー継承 事業	11月16日・ 11月17日	バスケットボール教室を開催（6団体、65人）
		3x3バスケットボール「OFUNATO CUP」を開催（14チーム、51人）

(表3) 第71回(令和6年度)市民体育大会の開催状況

(単位:人)

No.	種目	期日	対象	会場	参加	
					チーム	人数
1	グラウンドゴルフ	6/16	小学4年生以上	盛川河川敷公園		98
2	バドミントン	7/28	小学生以上	市民体育館		100
3	柔道	8/11	柔道経験者	時習館		22
4	剣道	9/1	小学生以上	市民体育館	11	39
5	ソフトテニス	9/29	中学生以上	市民テニスコート		94
6	バレーボール	10/6	高校生以上	市民体育館	4	46
7	軟式野球	10/6 ~10/27	一般	市営球場	8	200
8	水泳	10/14	小学生以上	メイワエアロビクスクラブ		78
9	弓道	10/20	高校生以上	市民弓道場		42
10	ゲートボール	10/25	一般	ジェイスタジアム	4	15
11	市民マラソン	11/3	小学生以上	盛川河川敷公園		69
12	テニス	11/10	一般	市民テニスコート		36
13	8人制サッカー	11/24	高校生以上	赤崎グラウンド	6	77
14	卓球	1/26	小学生以上	市民体育館		90
15	フットサル	2/16	一般	市民体育館	11	65
合計					44	1,071

(参考) 大船渡アスリート応援団事業の主な取組

「大船渡アスリート応援団」は、本市にゆかりのあるアスリートの活躍を願い、市民一丸となって応援するとともに、生み出される感動に対する感謝の気持ちを表すことを目的に活動している。

① 佐々木朗希選手

- ・千葉ロッテマリーンズとオフィシャルスポンサーシップ契約を締結 (R6.4.24)
- ・大船渡市冠協賛試合「三陸・大船渡パーフェクトナイター」を開催 (R6.7.30)
- ・メジャーリーグ挑戦に係る応援懸垂幕の掲示 (R7.1.19～)
- ・メジャーリーグ挑戦に係る応援寄せ書きを作成 (R7.1.25～R7.2.9)
- ・大規模林野火災に係る見舞金と寝具を寄附 (R7.3.3)
※ロサンゼルス・ドジャースも見舞金を寄附
- ・メジャーリーグ開幕戦第2戦で初登板 (R7.3.19、東京ドーム、シカゴ・カブス戦)



三陸・大船渡パーフェクトナイター



応援懸垂幕

② 寺澤光介選手

- ・パリ2024パラリンピック出場に係る応援懸垂幕掲示 (R6.8.16～R6.10.6)
- ・パリ2024パラリンピック出場に係る応援寄せ書き作成 (R6.8.21～R6.9.2)
- ・パリ2024パラリンピック・トライアスロン競技パブリックビューイング (R6.9.2)
- ・市長表敬訪問、母校の末崎小学校と末崎中学校などを訪問 (R7.2.7)
- ・プロトライアスリート記念講演会 (R7.2.8、リアスホール)
- ・チャリティーランイベントでの募金を義援金として寄附 (R7.3.14)



応援寄せ書き



パブリックビューイング



寄付金贈呈

③ 佐々木遥香選手

- ・デンソーテンレッドフェニックスバレーボール教室を開催（R6.5.3）
- ・市長表敬訪問、母校の第一中学校にてバレーボールの指導（R6.12.27）



バレーボール教室



市長表敬訪問

(3) 基本方針 3 市民ニーズに応じたスポーツ環境の整備・充実

事業名等	実施時期	取組内容
認定指導者助成事業	通年	スポーツ少年団認定員を増やすため、認定指導者講習会の受講料を助成（14人、42千円）
スポーツ少年団指導者研修会開催事業	2月9日	スポーツ少年団の指導者等を対象に、体力づくりやトレーニングに関する研修会を開催（25人）
スポーツ推進委員研修会派遣事業	通年	スポーツ推進委員の知識と指導技術の向上を図るため、県内や東北地区で開催される各種研修会に派遣（延べ19人）
スポーツ施設整備事業	通年	三陸B&G海洋センタープール解体（設計：2,420千円、工事：23,100千円） 市民体育館バスケットゴール修繕（359千円） 赤崎グラウンド誘導案内看板設置（637千円）

大船渡市スポーツ推進計画 施策・事業評価シート（令和6年度）

基本方針 1		生涯にわたるスポーツの推進	
1 基本施策（計画記載事項）			
基本 施策	(1) 子どもの体力づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期における運動機会の創出と運動習慣の定着化。 ・小中学校における楽しんで運動に取り組めるような魅力ある授業づくりの推進。 ・スポーツ少年団活動や部活動による、スポーツの楽しさや喜びなどの精神的充足、自主性や協調性の涵養と運動習慣の定着化。 	
	(2) 働き手世代のスポーツ機会の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの年代に合わせたスポーツ機会の創出、充実を図るとともに、イベント情報などを積極的に提供。 ・スポーツ教室やイベントを開催し、生活習慣病予防を促進。 	
	(3) 高齢者・障がい者スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体と連携しながら、スポーツ機会の拡大やスポーツを通じた交流機会の拡充。 ・高齢者の体力づくりや生きがいづくりによる健康寿命の延伸。 	
	(4) 競技力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体と協力したスポーツクリニックの開催などにより、一流選手に触れる機会を提供し、選手の意識と競技力を向上。 ・スポーツ合宿を誘致し、市内中高生との合同練習や試合を通じて競技力を向上。 	
2 基本施策の進捗状況・実績			
No	基本施策・主な事業	進捗状況・実績	評価
(1)	子どもの体力づくり ・スポーツ教室開催事業 ・スポーツ少年団活動支援事業 ・スポーツ少年団運動適性テスト測定会	【市スポーツ協会】 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちを対象に、5教室8種目のスポーツ教室と6回のジュニアスポーツ塾を開催し、スポーツに触れる機会を提供した。（135人参加） ・公立こども園3園で、年中及び年長児を対象にスポーツ教室を年2回ずつ開催した。 ・市内のスポーツ少年団の活動を支援するため、登録団体に運営費を助成した。（44団体、843千円） 【学校教育課】 <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域クラブへの移行に向け、保護者及び指導者等への説明会を中学校4校で計6回開催した。 	関係団体と連携し、子どもたちがスポーツに親しむための環境づくりに取り組み、運動習慣の定着、体力づくりが図られた。
(2)	働き手世代のスポーツ機会の拡充 ・学校体育施設開放事業 ・市民体力測定会 ・ファミリーウォーキング	【生涯学習課】 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設及び学校体育施設をスポーツ活動の場として提供し、スポーツ機会を確保した。 【市スポーツ協会】 <ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進や体力向上を図るため、市民体力測定会を開催した。 ・4種目のスポーツ教室と親子参加型イベント「ファミリーウォーキング」を開催し、世代間の交流を促進した。（延べ162人参加） 	働き手世代向けのスポーツイベントの実施や、活動場所の確保を図ったが、イベントの参加者、施設利用者が減少していることから、働き手世代が参加しやすい日程の設定や効果的な情報発信等が必要である。
(3)	高齢者・障がい者スポーツの推進	【生涯学習課】 <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県障がい者スポーツ協会と連携して、卓球バレー及びボッチャ大会（大船渡さんまカップ）を開催し、スポーツを通じた交流機会を創出した。 【市老人クラブ連合会】 <ul style="list-style-type: none"> ・大船渡市老人クラブ連合会では、ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、親睦交流大運動会及びボッチャ大会を開催した。 【地域福祉課】 <ul style="list-style-type: none"> ・気仙地区身体障がい者スポーツ交流会を開催し親睦を深めた。（50人参加） ・在宅で生活する身体障がい者（児）と保護者等の相互の交流及びニュースポーツのイベントを開催した。 【中央公民館】 <ul style="list-style-type: none"> ・市内11地区で実施する高齢者を対象とした生きがいセミナー及び地区連携講座において、ニュースポーツを計13回実施した。 【健康推進課】 <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進員と連携して、地域公民館等で健康教室を15回開催したほか、ウォーキングマップを作成した。 ・地域の高齢者交流サロンにおいて、ストレッチ、筋トレ、3B体操等のほか、ボッチャ、ノルディックウォーキング、ニュースポーツ（ピーンボウリング・スカットボール・カーリンコン）などを実施した。 【地域包括ケア推進室】 <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の取組として、市内11地区で「体力づくり講座（年8回）」を開催した。 	関係団体と連携し、高齢者や障がい者のスポーツを通じた交流や健康づくりが図られた。 高齢者の健康づくりについては、各課等で様々な事業を実施していることから、効果的な周知に努め、参加を促進する必要がある。
(4)	競技力の向上 ・全国大会等出場奨励事業 ・体育功労者等顕彰事業 ・スポーツ協会加盟団体活動支援事業 ・選手強化助成事業 ・岩手県民体育大会選手派遣支援事業	【市スポーツ協会】 <ul style="list-style-type: none"> ・全国大会などに出場する選手又は団体に対し、激励金を交付した。（4団体、22個人、250千円） ・本市の競技団体の発展に貢献又は国民スポーツ大会などで優秀な成績を収めた団体・個人を表彰した。（6団体、15個人） ・スポーツ協会加盟団体の活動費を助成し、日常的な活動と市民のスポーツ参加を推進した。（25団体、1,500千円） ・岩手県民体育大会に出場するスポーツ協会加盟団体の選手強化費及び派遣費を助成し、競技力向上と大会参加促進を図った。（選手強化費：19団体、570千円 派遣費：19競技、218人、1,599千円） 【生涯学習課】 <ul style="list-style-type: none"> ・県内高校の2校が「大船渡・住田定住自立圏域スポーツ合宿支援補助事業」を活用してスポーツ合宿を行った（延べ宿泊118人、236千円交付）。また、県内高校の1校が、令和7年3月下旬にスポーツ合宿を予定していたが、大規模林野火災のため中止した。（延べ宿泊238人の予定） ・大船渡アスリート応援団事業として、9人制実業団バレーボールチーム「デンソーテンレッドフェニックス」によるバレーボール教室及び社会人バスケットボールチーム「勲族」によるバスケットボール教室を開催し、子どもたちの競技力向上を図った。（バレーボール教室48人参加、バスケットボール教室65人参加） 【学校教育課】 <ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員9人を配置し、中学校の部活動における専門的な指導と、地域クラブ移行後の指導者となりうる人材の確保に努めた。 ・児童生徒が岩手県大会等に出場するための経費（移動費・宿泊費）を補助することにより、体育活動を支援し、知識技能の向上を図った。（2,059千円） 	全国大会や県民体育大会出場に係る激励金や派遣費用等の助成、公認アスリートによるスポーツ教室や部活動指導員による専門的な指導等により、全国大会への出場者が増加し、スポーツ競技力の向上につながった。

3 指標達成状況と進捗度評価

指標	単位	基準値		実績値				目標値		達成率 (R6/R10)	達成率 区分
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R5	R10		
日頃から継続してスポーツを行っている市民の割合	%	15.5	15.2	13.5	14.2	13.2	15.6	17.0	19.0	82.1	b
市内スポーツ施設の利用者総数	人	276,006	209,345	226,638 (注1)	236,994 (注1)	219,367 (注1)	198,840	260,500	245,000	81.2	b

※達成率=R6実績値/R10目標値×100。達成率区分=a:90%以上、b:70%以上90%未満、c:50%以上70%未満、d:50%未満。

(注1)令和3年度から令和5年度までの利用者総数には、市民体育館で実施した新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の利用者数（令和3年度34,611人、令和4年度20,359人、令和5年度7,560人）が含まれている。

進捗度評価
B

4 課題

【課題】
子どもの体力の低下と運動機会の創出
働き手世代を中心としたスポーツ機会の不足
高齢者・障がい者スポーツの環境づくり
中高生を中心とした競技意欲・意識の向上につながる他地域との対戦・交流機会の拡大
地域クラブ移行後の指導者の確保

5 施策・事業の方向性

【方向性】
<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の進行やニーズの多様化など、スポーツ活動に取り組む子どもたちを取り巻く環境は変わっていることから、変化に則した在り方を検討しながら、スポーツ教室の開催やスポーツ少年団活動の支援を通じて運動機会の創出と運動習慣の定着を図る。 ・生徒がスポーツに親しむことができる機会を確保するため、部活動の地域移行について、国のガイドライン等を踏まえて取組を進める。
<ul style="list-style-type: none"> ・働き手世代はスポーツ活動をする機会が少ないことから、働き手世代が参加しやすい日程を設定するほか、スポーツイベント等の情報が広く行き渡るよう、SNSなどを活用して情報発信を図る。
<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活の中で体を動かすことを習慣にするため、健康推進や介護予防の部署との連携を深め、生活習慣病予防を目的とした健康づくりに関する事業を展開する。 ・高齢者・障がい者スポーツの関係者と連携を図り、スポーツ活動や交流機会の拡充を図る。
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿の誘致を強化し、市内中高生との試合等を通じて、子どもたちの競技力の向上を図るほか、交流人口の拡大につながる取組を推進する。 ・大船渡アスリート応援団の取組等を通じて、トップアスリートの指導等に触れる機会を提供し、競技力向上を図る。
<ul style="list-style-type: none"> ・各競技団体等と連携し、指導者確保に取り組むとともに、指導者を対象とした研修会の開催や認定指導者資格取得のための助成などを通じて、指導者の更なる育成・充実を図る。

大船渡市スポーツ推進計画 施策・事業評価シート（令和6年度）

基本方針 2	スポーツを通じたにぎわいあるまちづくりの推進
--------	------------------------

1 基本施策（計画記載事項）

基本 施策	(1) スポーツによる交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> 市民体育大会など市民がスポーツに親しむ機会の創出を図り、市民間の交流機会の拡充を促進。 大船渡市スポーツ交流推進連絡会議などとの横断的な連携を図り、合宿、イベントの誘致を進め、地域経済の活性化とにぎわいを創出。 BMXや3x3バスケットボールなどのアーバンスポーツを積極的に取り入れたスポーツイベントの開催。 いわてスポーツコミッションなどとの連携によるスポーツアクティビティを通じた地域活性化の推進。
	(2) 地域でのスポーツ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災により状況が大きく変化した地域コミュニティに対し、レクリエーション等のイベントを通じ、新たなコミュニティの形成を支援。 スポーツ推進委員の派遣により、地域における自発的なスポーツ・レクリエーション活動を促進。
	(3) 近隣自治体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> 新たな大会などの誘致に向けた近隣自治体との連絡体制の構築。 利用者ニーズや利用形態に合わせた施設の補完・相互利用を促進。 スポーツに関する様々な情報を幅広く提供できるよう、関係団体などと連携。

2 基本施策の進捗状況・実績

No	基本施策・主な事業	進捗状況・実績	評価
(1)	スポーツによる交流の促進 ・市民体育大会 ・高齢者スポーツ交流大会 ・スポーツ少年団交流大会 ・ニュースポーツ・フェスティバル ・大船渡新春ロードレース大会 ・大船渡ポートサイドバレーボール大会 ・大船渡アスリート応援団事業	【市スポーツ協会】 ・市民体育大会を開催し、競技力の向上とともに参加者の交流促進を図った。（15種目、延べ1,071人参加） ・高齢者スポーツ交流大会を開催し、ニュースポーツを通じた高齢者の交流機会を提供した。（12チーム、56人参加） ・スポーツ少年団交流大会を開催し、各団体の交流の場を提供した。（7チーム、150人参加） ・ニュースポーツ・フェスティバルを開催し、競技の普及を推進した。（7種目、87人参加） ・大船渡新春ロードレース大会を開催し、ランナーの交流と地域の活性化を図った。（1,117人参加） ・大船渡ポートサイドバレーボール大会を開催し、県内のスポーツ少年団の交流を促進した。（36チーム、360人参加） 【生涯学習課】 ・岩手県障がい者スポーツ協会と連携して、卓球バレー及びボッチャ大会（大船渡さんまカップ）を開催し、スポーツを通じた交流機会を創出した。（再掲） ・東京2020オリンピックレガシー継承事業として、3x3バスケットボール大会を開催した。（一般6チーム、中学生8チーム参加） ・大船渡アスリート応援団の事業として、千葉ロッテマリーンズ冠協賛試合「三陸・大船渡パーフェクトナイター」の開催、9人制実業団バレーボールチーム「デンソーテンレッドフェニックス」によるバレーボール教室及び社会人バスケットボールチーム「勉族」によるバスケットボール教室を開催し、子どもたちの競技力向上を図った。（バレーボール教室48人、バスケットボール教室65人参加） ・公認アスリートの寺澤光介選手が出演したパリ2024パラリンピック・トライアスロン競技のパブリックビューイングと寺澤選手による講演会を開催した。（パブリックビューイング100人、講演会100人参加） ・県内高校の2校が「大船渡・住田定住自立圏域スポーツ合宿支援補助事業」を活用してスポーツ合宿を行った（延べ宿泊118人、236千円交付）。また、県内高校の1校が、令和7年3月下旬にスポーツ合宿を予定していたが、大規模林野火災のため中止した。（延べ宿泊238人の予定）（再掲） 【東北BMX協会】 ・三陸BMXスタジアムにおいて、2024 J BMX F 大東建託シリーズ第7戦岩手大会を開催した。 【合同会社TXF】 ・BMXのローカル大会及び合宿、スケートボードの合宿を開催した。 【株三陸アクティブ】 ・甫嶺復興交流推進センターを拠点とするスポーツアクティビティ体験の一つとしてBMX体験を紹介の上、幹旋した。	大船渡新春ロードレース大会を始めとした各種スポーツイベントや、大船渡アスリート応援団の取組により、スポーツを通じた交流の促進を図られた。 スポーツ合宿の誘致拡大に至らなかったことから、周知範囲を県外に拡大するなど周知方法の工夫が必要である。
(2)	地域でのスポーツ活動の推進 ・スポーツ推進委員設置運営事業 ・地域公民館対抗卓球大会	【生涯学習課】 ・高齢者スポーツ交流会など6つのスポーツイベントに市スポーツ推進委員を派遣し、実技指導や大会運営を支援した。（6件、延べ56人参加） 【市スポーツ協会】 ・地域公民館対抗卓球大会を開催し、連帯感の醸成や地域間の交流促進を図った。（10チーム、36人参加） 【市民協働課】 ・地区が自主的に取り組むスポーツ・レクリエーション活動を、地区づくり補助金の交付により支援した。（4地区、2,000千円交付）	スポーツ・レクリエーションを通じて、市民の体力づくりと親睦・交流が図られた。
(3)	近隣自治体等との連携	【市スポーツ協会】 ・大船渡ポートサイドバレーボール大会では、効率的な大会運営を図るため、大船渡市民体育館と陸前高田市「総合交流センター・夢アリーナたかた」を会場として実施した。 【生涯学習課】 ・自治体間のスポーツ施設の相互利用を図るため、「大船渡・住田定住自立圏域スポーツ合宿支援補助事業」を活用したスポーツ合宿の誘致を行った。	近隣自治体間でのスポーツ施設の相互利用が促進された。

3 指標達成状況と進捗度評価

指標	単位	実績値						目標値		達成率 (R6/R10)	達成率 区分	進捗度評価
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R5	R10			
大船渡新春ロードレース大会の参加者数	人	1,656	大会中止 (注1)	大会中止 (注1)	1,125	1,082	1,117	1,700	1,800	62.1	c	
スポーツ合宿支援補助金の対象団体数、延べ宿泊者数	団体	0	3	1	2	2	2	3	5	40.0	d	
	人	0	404 (注2)	106	390 (注2)	176	118 (注3)	60	250	47.2	d	

※達成率=R6実績値/R10目標値×100。達成率区分=a:90%以上、b:70%以上90%未満、c:50%以上70%未満、d:50%未満。

(注1) 令和2年度と令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、大船渡新春四大マラソン大会を中止した。

(注2) 令和2年度と令和4年度におけるスポーツ合宿支援補助金の増加は、新型コロナウイルス感染症に伴う岩手県独自の緊急事態宣言により県外への移動が制限されたため、例年は県外で合宿を行っていた盛岡中央高等学校野球部が大船渡市営球場を拠点に合宿を実施したことが主な要因である。

(注3) 令和6年度実績は2校の118人。大規模林野火災により中止となったが、専修大学北上高等学校女子サッカー部（延べ120人）の合宿を含めると目標人数に近づいた。

4 課題

【課題】
生涯スポーツの推進と交流人口拡大を通じたにぎわいあるまちづくり
BMXなどスポーツ・アクティビティの取組を通じた交流の創出
地区におけるスポーツ・レクリエーション活動推進のための支援
近隣自治体との連携による施設の相互・有効利用

5 施策・事業の方向性

【方向性】
<ul style="list-style-type: none"> 大船渡新春ロードレース大会などの各種スポーツイベントの実施により、生涯スポーツの推進と交流人口拡大を通じたにぎわいあるまちづくりを進める。 当局ゆかりのアスリートとの交流イベントや応援活動等の新たな取組を通じて地域の魅力を発信し、地域への関心及び訪問意欲を喚起する。 交流人口の拡大に資する取組として、住田町と連携のうえで、「大船渡・住田定住自立圏域スポーツ合宿支援補助金事業」の周知範囲を県外に拡大することで合宿誘致を促進する。
<ul style="list-style-type: none"> 三陸BMXスタジアム運営事業者が主体となり、J BMX Fの開催誘致を進めるとともに、BMX及びスケートボードの合宿やローカル大会を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> 地区・地域でのスポーツ活動については、各地区などのニーズを踏まえながら、スポーツ推進委員の派遣等により、スポーツ・レクリエーション活動を促進する。
<ul style="list-style-type: none"> スポーツ合宿の誘致、施設の相互利用の取組を強化するとともに、新たな大会の誘致に向けた近隣自治体との連携体制の構築を図る。

大船渡市スポーツ推進計画 施策・事業評価シート（令和6年度）

基本方針3	市民ニーズに応じたスポーツ環境の整備・充実
-------	-----------------------

1 基本施策（計画記載事項）

基本 施策	(1) スポーツを「ささえる」人材の育成・充実	<ul style="list-style-type: none"> 大船渡市スポーツ協会と連携し、指導者養成講習会などへの参加を促進しながら、指導者の育成・充実を図る体制の強化。 スポーツ推進委員の資質向上を目的とした各種研修会等への派遣。 関係団体と連携し、高齢者や障がい者などの支援を必要とする人々のスポーツ推進体制を整備。 講習会への参加促進を通じて、障がい者スポーツを支える指導者・ボランティアを育成。
	(2) スポーツ施設・設備の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少や利用ニーズ、財政状況などを踏まえながら、施設・設備を計画的に整備。 既存施設は長寿命化を基本とし、計画的に修繕・改修を行うとともに、更新に当たっては必要性や将来にわたる財政負担を十分考慮して検討。 国の支援制度などを活用し、バリアフリー化など計画的に整備。
	(3) スポーツ施設等の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の利用者増加や効果的な運営が行われるよう、指定管理者との連携を強化。 受益者負担の適正化や公平性の観点から施設利用料の定期的な見直し。 学校施設の利用促進と閉校となった学校体育施設の有効活用について、地区や地域住民などと検討。
	(4) スポーツにおけるDXの推進	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが気軽にスポーツにアクセスできるよう、デジタル技術を活用した新たなスポーツの取組の推進。 データ分析による先進的・効率的なトレーニングなど、様々なスポーツ活動においてデジタル技術の活用の推進。

2 基本施策の進捗状況・実績

No	基本施策・主な事業	進捗状況・実績	評価
(1)	スポーツを「ささえる」人材の育成・充実 ・認定指導者助成事業 ・スポーツ少年団指導者研修会開催事業 ・スポーツ推進委員研修会派遣事業	【市スポーツ協会】 ・スポーツ少年団活動の活性化を図るため、スポーツ少年団スタートコーチ資格取得者の受講料を助成した。（14人、42千円） ・スポーツ少年団の指導者や育成会を対象に、体力づくりやトレーニング等に関する研修会を開催し、知識を深めた。（25人参加） 【生涯学習課】 ・岩手県スポーツ推進委員研修会及び東北地区スポーツ推進委員研修会に参加し、専門的な知識と技能を習得した。（延べ19人参加）	スポーツ少年団の指導者やスポーツ推進委員に対して研修への参加を促すことで、知識や技能の習得が進み、スポーツを「ささえる」人材の育成と充実が図られた。
(2)	スポーツ施設・設備の整備・充実 ・スポーツ施設整備事業	【生涯学習課】 ・大船渡市スポーツ施設整備基本計画の前中期期間(R2～R5)が経過したことから、計画の進捗状況などについて総合的に評価・検証を行うとともに、社会情勢の変化やスポーツ関係者、市民の意見を踏まえながら、計画の中間見直しを行った。 ・三陸B&G海洋センタープールの解体工事、市民体育館のバスケットゴールの修繕及び赤崎グラウンドの誘導看板の設置を行った。	市スポーツ施設整備基本計画を踏まえ適切にスポーツ施設のマネジメントを行った。 また、当該計画の進捗状況や社会情勢の変化などに応じて、中間見直しを行い、施設整備の方向性を定めた。
(3)	スポーツ施設等の有効活用	【生涯学習課】 ・スポーツ施設の施設管理者と連携し、利用者のニーズを踏まえた事業展開により、より効果的な施設運営を図った。 【市民協働課】 ・学校の統廃合による閉校施設については、利活用に係る地区要望を確認し、必要な対応策を検討した。 【学校教育課】 ・閉校施設の維持管理を行い、グラウンドや屋内運動場の一時的な利用希望に対し、支障がないことを確認したうえで貸し出しを行った。	指定管理者の専門的な知見や利用者のニーズ把握により、効果的な事業展開と効率的な施設運営が図られている。 また、閉校施設の有効活用に向けた検討を行った。
(4)	スポーツにおけるDXの推進	【地域包括ケア推進室】 ・「Web健康づくり介護予防教室」として「筋力アップ体操」と「脳力アップ体操」の動画を市のホームページに掲載した。 【商工企業課】 ・地域おこし協力隊員が市内の高校の陸上部等に対して、デジタルツールを用いた運動能力向上支援を26回実施した。 【生涯学習課】 ・大船渡アスリート応援団の取組やスポーツイベントの周知にSNSを活用した。	動画配信やデジタルツールを活用した取組により健康意識と運動能力の向上が図られた。 情報発信に力を入れ、取組の周知・啓発が促進された。

3 指標達成状況と進捗度評価

指標	単位	基準値	実績値						目標値		達成率 (R6/R10)	達成率 区分
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R5	R10			
市が主催するスポーツ指導者講習会の参加者数	人	30	0	24	24	25	25	35	40	62.5	c	
スポーツ施設利用の満足度	%	19.0	18.7	23.3	20.6	24.4	24.0	21.0	23.0	104.3	a	

※達成率=R6実績値/R10目標値×100。達成率区分=a:90%以上、b:70%以上90%未満、c:50%以上70%未満、d:50%未満。

進捗度評価
B

4 課題

【課題】
スポーツを「ささえる」人材の確保
学校部活動の地域連携・地域移行への対応
スポーツ施設の利便性や機能性の向上
指定管理者制度によるスポーツ施設の効果的な運営
閉校した学校体育施設の利活用
デジタル技術を活用した新たなスポーツの取組

5 施策・事業の方向性

【方向性】
<ul style="list-style-type: none"> スポーツを「ささえる」人材への関心が高まり、求められる指導者の在り方が多様化するとともに、学校部活動の段階的・地域移行が進むなど、新しい状況に対応することができるよう、研修会などを通じた人材育成に取り組む。 平日を含めた学校部活動の完全地域移行を見据えて、受け皿となる団体の確保や人材育成に取り組んでいく。
<ul style="list-style-type: none"> 大船渡市スポーツ施設整備基本計画に基づき、主要施設の整備・改善を図るとともに、既存施設の長寿命化、集約化や複合化、廃止等の検討が必要であり、人口動態や財政状況を踏まえながら、中・長期的な視点により、良好な施設マネジメントの推進を図る。
<ul style="list-style-type: none"> 指定管理業務について、モニタリング調査などと連動させ、コスト意識をより高めつつ、利用者ニーズに即した業務の推進を図る。
<ul style="list-style-type: none"> 閉校施設については、地区で利用意向を示しているものに関しては、利用形態を考慮しつつ実現に向けた調整を進めるとともに、利活用が決定するまでの間、適切な維持管理を行う。
<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を活用した新たなスポーツの取組について調査・研究を行う。